




愛 & 絆 ガンバロー!! そのき 曾野木地区コミュニティ協議会だより

第9号
令和3年1月1日

事務所：新潟市江南区天野2丁目7番2号 曾野木地区センター3階 TEL/FAX 025-280-4175

曾野木地区人口：10,397人 世帯数：4,330世帯 令和2年10月末現在（住民基本台帳による）



桜田会長

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。


昨年も皆様にはコミュニティ協議会の活動に対し、大いにご協力を賜りましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、年の初めから新型コロナウイルスが発生し、これまで経験したことのない流行となりました。結果、祭りやイベントが軒並み中止になってしまいました。そんな中、地域の皆様や帰省される皆様に、せめて気持ちだけでも明るくならおうと“愛&絆 そのき光のページェント”を開催（12月19日～1月16日まで）したところです。

さて本年は、新型コロナウイルス感染症がまだまだ終息が見えない中、ウィズコロナを見据えた活動が求められるものと思います。その意味でも従前以上に皆様のお力をお借りしながら諸事業を推進する所存でありますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

明るい話題としては、令和4年完成を目指す「市営住宅跡地等施設整備計画」と「天野河川防災センター」の2大工事が本格化します。皆様とともに完成を待ちたいと思います。

最後に、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、何事もなく平穏な日々が続きますよう祈念して年頭のご挨拶といたします。



令和3年 元旦 × 愛&絆
そのき光のページェント

曾野木地区 秋のあいさつ運動 = 運動強化期間 = 10月1日(木)～10月31日(土)

**あいさつ運動（子供同士、子供と大人、大人同士）の輪を曾野木地区全体に広げましょう！
登下校時の子供の安全を地域住民みんなで守りましょう！**

<主な取り組み>

- ◆強化月間中の“のぼり旗”の設置（小中学校周辺、通学路 など）
- ◆あいさつ運動看板の設置（ごみステーション など）
- ◆小中学校校門前でのあいさつ運動
- ◆通学路等でのあいさつ運動（登下校時の見守り活動）

} 10月13日(火)～16日(金)



東曾野木小学校



曾野木小学校



曾野木中学校

江南区長との懇談会（書面開催）

今年度は、コロナの影響で書面での開催となりました。

1. 新潟・寺泊線と県道新潟亀田・内野線の道路整備
5. 大堀支線排水路の有効活用
- ① 信濃川大橋東詰周辺の慢性的交通渋滞対策
6. コロナ禍における避難場所の拡充
- ② JA前周辺の冠水対策
7. 曾野木団地内バス運行路線の路盤改良
- ③ 丸瀧新田地内の歩道末整備区間の整備
8. 曾野木団地諸課題の改善
- ④ 曾野木中学校から早通間の道路拡幅
- ① 入居者移転の緩和と移転費用の助成
2. 県道小須戸線（楚川～太右エ門新田）東側歩道の設置
- ② 高齢者(子供) 食堂の開設
3. 区バスの充実
- ③ 入居条件の緩和
4. 大規模水害対策
9. 曾野木公民館へ公衆無線LAN (Wi-Fi) の設置
- ① 楚川排水路（仮称）の新設
10. 信濃川河川敷整備後の有効利活用に向けた対応
- ② 信濃川右岸堤防の強化

※回答内容については、コミ協又は自治会長に問合せ下さい



防災関連トピックス



◎避難所運営体制連絡会

【全体説明会】 テーマ：避難所による感染症対策
9月30日（水） 江南区文化会館



曾野木小学校会場

【現地検討会】

- ・感染症対策の物品や掲示物等の確認
- ・感染症対策を踏まえた避難所レイアウトの検証

10月30日（金）
東曾野木小学校会場
11月11日（水）
曾野木小学校会場
曾野木中学校会場

◎災害ボランティアセンター設置訓練



講義模様



体験模様

11月8日（日）
曾野木地区公民館

（講義）

- ・協働型災害ボランティアセンターの意義
- ・災害ボランティアセンターのサテライトとは

（体験）

- ・模擬災害ボランティアセンターサテライト体験



天野河川防災センター

～令和4年度末頃に工事が完成する予定～

信濃川下流には3つの河川防災ステーション設置が計画されており、既に上流左岸に『三条河川防災ステーション』、中流左岸に『赤渋河川防災ステーション』が設置済みです。『天野河川防災ステーション』は、信濃川を管理する国土交通省と、地元新潟市が連携し進める事業であり、人口・資産が集中している政令指定都市新潟市が存在する最下流右岸の天野地区に計画されています。

天野地区は阿賀野川と信濃川下流に囲まれた低平地「亀田郷」にあり、旧河道や曾川切れの地点にも隣接し、治水上重要な箇所にも位置しています。この地区に防災ステーションを設置することで、ブロックや土砂・砂利などの水防資機材の他、ヘリポートや作業スペースを確保し、災害対策車両車庫や新潟市の水防センターを配置することによって水防活動や災害復旧活動を円滑に実施することが可能になる他、地区では数少ない堤防相当の高さの盛土となり、洪水時でも浸水することが無いことから住民の一時的な避難も可能です。

また、平常時には、防災学習の場、地域の交流、憩いの場としての活用も期待されます。



地域の茶の間トピックス



フジトモ茶の間ゆう遊

フジトモ菜園いもほり体験会を開催
（参加者は慣れない手つきで収穫を体験）
10月17日（土）



そのき会（老人憩の家）

コロナにより、久しぶりの開催
昔がたり、楽語などで堪能
10月10日（土）



結いの郷

健康づくり運動の体験会を開催
・バランスボールを使った筋力強化やストレッチ
・椅子に座ってできる体操など
9月19日（土）
10月17日（土）
11月21日（土）





いきいきセミナー

もっと自分が好きになる
ゆるゆるリンパケア&太極拳を開催
9月14日、28日、10月12日、26日 全4回



そのき市民学級

～いつまでも楽しくイキイキと暮らしていくために～
そのき市民学級でいろんなことを楽しく学び仲間とともに
健康なところと身体づくりをしましょう!!をキーワードに開催

- 7月1日(水) 100歳まで歩ける足づくり
(コロナの影響で中止)
- 8月5日(水) お口の健康を保ちましょう
- 9月2日(水) 普段の「歩き」の健康効果が
グーンとアップする!?
「ウォーキング講座」
- 10月7日(水) 免疫力アップで健康長寿
- 11月4日(水) 栄養と運動でフレイル予防
- 12月2日(水) 認知症を楽しく予防しよう



ウォーキング講座

コロナの影響で従来のイベントが軒並み中止に! ウィズコロナ時代の新たなイベント～模索中

- 曾野木地区の史跡・ホットスポットを巡る
少人数によるサイクリング(約16km)
コミ協(若手交流会中心で実施)
11月8日(日)

スタート/ゴール: 曾野木地区公民館

① 寿々木米若句碑

② 天野河川防災ステーション
(予定地)

③ 曾川切れ記念碑
(曾川切れ跡碑)

④ 信濃川右岸堤防

⑤ 親松排水機場

⑥ 北越高校グラウンド
(予定地)

⑦ 市営住宅跡地

⑧ 丸瀧小学校跡地

⑨ 嘉木:省弊舎
(曾野木小学校の前身)跡地



- 曾野木商工会WITHコロナ「防災ウォークラリー」
少人数のグループごとに商工会員のお店、避難所、
などのチェックポイントを巡り、クイズを体験
11月21日(土)

スタート: JA倉庫前
(甘酒・お汁粉のふるまい)

① 福祉作業所あおぞらポコレーション
(オリジナルマスクの作成)

② 曾野木小学校<避難所>
(防災クイズ)

③ 商工会のお店、曾川切れ跡碑
(飲み物ふるまい、防災クイズ)

④ 商工会のお店
(お餅のふるまい)

⑤ 曾川消防ポンプ小屋
(防災クイズ)

ゴール: 商工会のお店



- ◆こんな問題も
Q: エレベーターが動いている時に
地震が来たらまず何をします?
① 1階のボタンを押す
② 最上階のボタンを押す
③ すべてのボタンを押す
④ どこのボタンも押さない

江南区区バス(曾野木ルート)に新車両導入

9月30日(水) 曾野木連絡所駐車場

10月1日より2台の
ノンステップバスで
運行開始!

運行に先駆け新車両見学会開催
乗り降りしやすい邱床車両です。
路線確保のためにも
是非、利用して下さい。



曾野木地区コミュニティ協議会

ホームページを開設しました!
是非ご覧下さい。



URL: <https://sonoki-comikyo.1net.jp>



曾野木
再発見

曾川切れ

全国各地の河川で発生している大洪水。
その大洪水が過去において、明治時代の（蒲原平野未曾有の大洪水、天野新田破堤など）、大正時代の（木津切れ、曾川切れ）と、曾野木村でも大洪水が発生していた。とりわけ、大正6年（1917年）に襲った「曾川切れ」（信濃川最下流の洪水）は大きな被害をもたらした。

曾川切れ記念碑建立

おーや おやげなや 曾川か切れた
抱いて寝た子も 流された

大正六年（一九一七）十月二日未明のこと、正に「曾川切れ」を象徴する口承である。

連日のしのつく雨でふくれあがった大川端の水は河口に吐き切れず掘といふ掘は溢れて新潟市街路と数千戸が浸水していた。

刻々の増水は十一キロメートル上流の中の口川との合流地点曾川堤下の用水樋管を突き破り堤防二百メートルを決壊し、正面の曾野木小学校新校舎と十数戸の民家押し流し、狂奔する濁流は鳥屋野瀉周辺、一市一町五個村の亀田郷一帯を修羅場と化したのである。

浸水家屋数千戸、収穫を目前に冠水した田畑三千余ヘクタールその被害は量り知れないものであった。

然しこれが大河津分水工事促進の口火ともなり大正十一年（一九二二）八月完工、通水を見るに至って信濃川下流域の洪水は終息した。

以来六十九歳月水禍唯一の痕跡であったマキノ池も埋め立てられ都市化の波はこの災害を語る何ものも存しない変貌をもたらした。

このとき、この郷土の歴史的災害の一端を石に刻んで後人の教材として留める。

一九八六年一〇月二日

「ゆきしろ」同人

「曾川切れ」記念碑を建てる有志会 奎書



曾川切れから100年が経過。この間、大正11年（1922年）大河津分水路通水、昭和47年（1972年）関屋分水路通水などの治水対策により、この地の破堤は発生していない。

これからも、母なる川「信濃川」が牙をむく暴れ川にならないことを祈りたいものです。

◀曾川切れ記念碑建立
昭和63年（1986年）

曾川切れ跡碑建立▶
昭和63年（1986年）



自治会紹介

丸瀧新田自治会

自治会長 番場 幸二

私たち、丸瀧新田地区は、曾野木地区の西側に位置し、世帯数43戸（8組）で自治会活動を行っています。

私たちの母校、丸瀧小学校を紹介させていただきます。

新潟市立丸瀧小学校は、明治18年（1885年）創設、昭和54年（1979年）廃校。同年、曾野木・丸瀧両小学校区の通学区域の再編により新潟市立東曾野木小学校に編入しました。

*戦後の児童数

ピーク時：137名（昭和34年）⇒閉校前年：36名（昭和53年）



校舎は、木造2階建てで、渡り廊下を渡ると、白塗りの体育館がありました。私が、当時、小学1年生で入学した時、1クラスで13人でした。校舎の前には、

大きなグラウンドがあり、運動会・文化祭には大勢の人たちが、来てくれました。ある日、私たちの丸瀧小学校のグラウンドで人文字を作ってヘリコプターで、空から写真撮影をする事になり、丸瀧の人文字を作って見たら、人数が足りなくて丸の一文字を写真撮影したことを覚えています。

時は過ぎ、今年の7月初旬、曾野木地区・農地水環境保全組織の取り組みの一環で丸瀧新田のバス停留所脇にある、空き地に、花壇を作る事になり朝早くから町内の皆様、子供たちの参加のもと、ひまわり、パンジーなど、沢山の花を植える事が出来ました。

8月の猛暑の中、毎日朝、夕方とジョウロで花壇に水やりをする、町内の人の姿がありました。暑い中、ありがとうございました。おかげさまで今も花壇いっぱい、綺麗に咲いています。これからも町内の皆様と綺麗な花を咲かせ、明るい自治会にしたいと思っています。

